

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					煙山保育園保育事業	煙山保育園	-	田村・昆
管理No.				0796-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園児
	受益者	煙山保育園児及び保護者
意図	○子どもの発達に沿った保育業務と子育て支援 ・保護者の就労や病気により家庭に於いて十分保育することが出来ない子どもを家庭に代わって保育する。児童福祉法に基づき運営するものである。	
手段	・保育指針に基づいた各年齢の発達に合わせた保育 ・異年齢交流形態による保育 ・年齢に合った行事の計画及び実施 ・保護者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築 ・日々の健康チェック及び視診	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	子どもの発達に合わせた保育の実施と子育て支援（就労による保育、産前産後の保育）
成果に対する「有効性」	A	子どもを保育することにより、保護者の就労促進となる。また、保護者は安心して働くことが出来る。
事務事業内容の「効率性」	C	保育ニーズの変化により職員の勤務体制・業務内容が複雑になっている他に休日保育に人的負担が大きく、通常の保育業務に支障が生じる。
実施に係る「緊急性」	A	今後の矢巾町を担う子どもの保育は必須である。町立保育園として保護者の就労状況や家庭状況等の変化に伴う多様化した保育需要に応じながら業務を継続していく必要性がある。

課題（若しくは「問題」等）

・多様化した保育需要(休日保育・病児保育・要保護児の受け入れ等)に応じる為には正職員の対応が必須である。
--

【(旧) Change シート】

指標（効果）

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	保護者参加の行事の回数	回	2				
	入園児数/定員(3月現在)	人/人	150/150				
	開園日数	日	330				
成果指標	クレーム件数	件	目標値				
			実績値	2			
	園内での怪我の発生数	件	目標値				
			実績値	2			
	就学時の発達記録の健康分野の到達度(園児平均)	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	67			

住民等からの意見要望（「外部の意見」など）



改善改革(案)

・正職員の増員を希望する。

管理No.	0796-000	名称	煙山保育園保育事業	予算額 (参考)	74,269千円	必要人員	27.00／人・年	部署名	煙山保育園 -
○保育所は、児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設である。 ○「煙山保育園保育目標」 ・健康でたくましい子ども ・思いやりのある子ども ・想像力の豊かな子ども ・元気に挨拶出来る子ども ○上記目標の下、「保育所保育指針」を踏まえ、子どもの発達に合わせた保育の実施と子育て支援を行う。 ・各年令毎(0～5歳)の保育計画作成、保育実施及び評価・反省・・・個別目標、月案、週案 ・保育記録の作成・・・日々の記録、個別発達記録、健康診断記録、0歳児睡眠時記録(SIDS〈乳幼児突然死症候群〉) ・子どもの健康チェック・・・健康チェック表、登降園チェック表の確認、体調不良児の対応(個別保育、保護者への連絡)、検温 ・生活指導・・・食事、排泄、着脱、睡眠 ・保育準備・・・環境設定、保育材料・用具の準備 ・環境整備・・・室内清掃・消毒、玩具消毒 ・保護者との連携・・・連絡帳の記入、子育てに関する相談、送迎時の対応 ・行事の計画、準備、実施 ・小学校との連携・・・保育所児童保育要録の作成(接続カリキュラム)、幼保小連絡協議会への参加									
関係する根拠法令等 児童福祉法・矢巾町立保育所設置条例					災害時優先度	発災から24時間以内に業務再開が必要			概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					地域交流活動に係る事務	煙山保育園	-	米倉・浅沼
管理No.				0797-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園全園児
	受益者	煙山保育園全園児と保護者及び地域住民
意図	・地域の自然、人材、行事等を積極的に活用し豊かな生活体験をはじめ保育の充実を図るため。	
手段	・老人クラブとの交流 ・老人施設訪問 ・独居老人との交流 ・地域交流活動(びっくり箱！ドン)	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	・基礎的な保育で豊かな学びの場を提供する保育事業。
成果に対する「有効性」	B	・目的を実現する手段として成果の向上が期待できる。
事務事業内容の「効率性」	B	・改善が必要であるが、概ね効率的である。
実施に係る「緊急性」	×	・目的に対する手段としては他の方法もある。

課題 (若しくは「問題」等)

・コロナ感染流行の為、以前と同じ方法での交流ができない。

【(旧) Change シート】

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	老人クラブとの交流回数					
	老人施設訪問回数					
	地域交流活動回数					
成果指標	住民からの講師候補者の情報提供数	目標値	3	3	3	3
		実績値				
	活動実施回数	目標値	9	9	9	9
		実績値				
		目標値				
		実績値				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

改善改革(案)

・少人数で交流するなど密にならない方法を考える。

管理No.	0797-000	名 称	地域交流活動に係る事務	予算額 (参考)		必要人員		部署名	煙山保育園 -
・老人クラブと交流。 ・老人施設訪問。(敬愛荘、悠和荘、南デイサービス) ・独居老人との交流。 ・地域交流活動(びっくり箱！ドン)。地域の講師を迎え、子ども達の前で得意なことや仕事のことを講演してもらう。 R元年の活動実績 ○老人クラブとの交流・さつまいもと夏野菜の苗植え・運動会への招待・さつまいもの収穫・お楽しみ会への招待・みずき団子作り ○施設訪問交流・敬愛荘・悠和荘・南デイサービス ○独居老人交流(インフルエンザ流行のため中止) ○地域交流(びっくり箱ドン)・アマチュアバンドによる歌とギターの講演・さんちゃん工房職員による講演(味噌づくり体験) ・理容ボランティアによる講演と前髪カット・県立大学ダブルダッチサークルによる講演(ダブルダッチ体験) ・パパママバンドによる演奏 ・パパクラブによる講演									
関係する根拠法令等						災害時優先度		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					体調不良児保育事業	煙山保育園	-	浅沼・米倉
管理No.				0798-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園全園児
	受益者	煙山保育園と保護者
意図	保育所に通所中の児童が、保育中に体調不良となった場合、保育所において緊急的に児童を預かる体調不良児保育事業を実施することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与することを目的とする。	
手段	・看護師2名以上を配置し、うち1名以上を体調不良児の看護を担当する看護師とする。(預かる体調不良児の人数は看護師1名に対して2名程度。) ・保育所の事務室を活用し、他の園児への感染を防ぐと共に体調不良児の安静を確保する。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	・子育ての社会的ニーズに応える特別保育事業。
成果に対する「有効性」	A	・目的を実現する為に事業内容が適切である。
事務事業内容の「効率性」	A	・この事業は、効率性が高く改善する余地はない。
実施に係る「緊急性」	D	恒常的に続けていくことが必要であり、常に実施する必要がある。

課題 (若しくは「問題」等)

・専門性の高い事案が多く、看護師の配置が必要不可欠であり、看護師が看護に専念できるように、保育士の確保も課題である。
・共働きの保護者にとって一番の悩みは「病気に罹った子をだれが看るか」という問題であり、体調不良時保育の拡充が必要と感じられるが、保育園で勤務する看護師の確保が難しい。
・早退者の中には翌日病児保育を利用する子がおり、病児保育事業のニーズの高まりも感じられる。現在矢巾町には、病児保育事業を行う施設はなく、近隣市町村の病児保育を利用しているのが現状である。しかし、町内で病児保育事業を行うためには医師や看護師の確保や病児受け入れのための設備施設が

【(旧) Change シート】

指標 (効果)				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	体調不良保育事業利用人数			169				
成果指標	看護師の体調不良児対応数	目標値		100	100	100	100	100
		実績値		61				
		目標値						
		実績値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)



改善改革(案)

・保育士の増員。

管理No.	0798-000	名称	体調不良児保育事業	予算額 (参考)	4,682,913千円	必要人員	2.00／人・年	部署名	煙山保育園 -
・対象者は保育中に微熱を出すなど、体調不良となった児童であって、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童。 ・看護師等を2名以上配置し、うち1名以上を体調不良児の看護を担当する看護師等とする。預かる体調不良児の人数は看護師等1名に対して2名程度。 ・保育所の事務室等を活用し、体調不良児の安静を確保する。 ・看護師等は、体温の管理を行うなど、体調不良児の健康状態を的確に把握し、症状に応じて安静を保てるように工夫する。 ・看護師等は他の児童及び職員等への感染防止を図るため、感染症予防に必要な衛生管理等に配慮するとともに、児童全体の健康管理を実施する。 ・保育期間は、保育中の児童が体調不良となった当日とし、保育時間内で保護者が迎えに来るまでの時間。									
関係する根拠法令等						災害時優先度	概要説明資料		

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					異年齢交流事業に関する事務	煙山保育園	-	中村・金子
管理No.				0799-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園園児
	受益者	煙山保育園園児及び保護者
意図	土曜日の保護者の就労や家庭の事情等により保育を要する園児を受け入れる。	
手段	以上児・未満児に分かれ、異年齢保育を行う。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	保護者の勤務の事情等により、児童を家庭で保育できない場合に園児を受け入れ、子育て支援をすると共に、児童の健全な育成を図る。
成果に対する「有効性」	A	家庭保育の協力をお願いすることで預かる子どもを最小限にし、異年齢交流で保育を行っている。
事務事業内容の「効率性」	A	必要最低限の保育士数で保育を行っている。
実施に係る「緊急性」	A	保護者のニーズに応えることで、児童の健全な育成が図られ、子育て支援に繋がる。

課題（若しくは「問題」等）

・年度により、土曜保育の希望者に変動があり、それに伴い必要人員数も変わる。
・令和2年度は、遅番の職員が出勤するまでの間、安全保育をするための職員が不足していた。

【(旧) Change シート】

指標（効果）

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	土曜受け入れ人数	1,166				
成果指標	土曜保育における怪我、事故発生数	目標値				
		実績値	1			
	保護者からの苦情件数	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

住民等からの意見要望（「外部の意見」など）

改善改革(案)

・子どもの人数の配置や保育室の使い方を工夫し、対応した。また、シルバー人材センターの勤務者に掃除や消毒をお願いし、保育士が保育に専念できる環境を整えた。
--

管理No.	0799-000	名称	異年齢交流事業に関する事務	予算額 (参考)		必要人員	375.00／人・年	部署名	煙山保育園 -
・土曜日の保護者の就労や家庭の事情から、保育を要する園児を受け入れ、保護者の需要に応じている事業。 ・保育を希望する家庭数が少ない為、未満児(0～2歳児)、以上児に分かれて保育を行っている。									
関係する根拠法令等						災害時優先度		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					休日保育事業	煙山保育園	-	高橋・苫米地
管理No.				0800-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園に入所している園児
	受益者	煙山保育園に入所している園児と保護者
意図	・就労形態の多様化に伴い、日曜、祝祭日に家庭保育ができない方の支援をする。	
手段	・休日保育申請書に基づき、利用児の人数に対して保育士の人数を決定。 (利用者の希望時間によっては超過勤務もある。)	

性質別 評価結果

性質	結果	説 明
町が実施する「必要性」	A	・公立保育園では休日保育の開園時間をAM7:00~PM7:00としており、町内の施設の中でも当園のみとなっている。保護者はこの点を踏まえて当園を選択してきている方もいる。
成果に対する「有効性」	A	・保護者からの申請があれば、適切な保育士人数を配置し、保護者にも子どもにも安心して安全な保育を提供している。
事務事業内容の「効率性」	A	・保護者のニーズに応える為、効率性が高く改善する余地がない。
実施に係る「緊急性」	A	・保護者の勤務状況に応じて行われており、今すぐ実施する必要がある。

課題 (若しくは「問題」等)

・休日保育の申請人数により、保育士人数を決定している。当初は申請者が1名であったが、後半は3名に増加した。3名とも、熱性痙攣の既往歴があり、痙攣が起きた場合は、救急車の要請を依頼されている。その際、痙攣を起こした子どもの対応、救急車の手配、その他の子ども達の保育対応などを考慮すると常時3名以上の保育者が必要となる。現在、交代で(2~3名)休日保育にあたっているが、休日保育の代休が平日に入ること登園者の多い平日の保育に支障をきたしている。

【(旧) Change シート】

指標 (効果)

				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	休日保育日数	日		36				
	休日保育利用者	人		46				
	休日保育従事者	人		78				
成果指標	休日保育	事業	目標値	1				
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

・日曜、祝祭日に勤務がある。家族の協力が難しい為、休日保育を利用したい。

改善改革(案)

・休日保育の利用児は1~3歳児であり、今後も数年は利用する見込みがある。また、就労形態の多様化に伴い今後も利用者が増加することが考えられる。休日保育の専属保育士を確保することで常勤保育士の休日勤務を減らしたい。

管理No.	0800-000	名称	休日保育事業	予算額 (参考)		必要人員	2～3	部署名	煙山保育園 -
・利用希望者は矢巾町休日保育事業実施要綱第6条の規定に基づき、休日保育利用申請書を提出する。 休日保育利用希望日に、保育士を2～3名配置。 (保育園開園時間はAM7:00～PM7:00。利用児の人数に関わらず、保育は最低でも常時2名以上確保する必要がある。休日保育利用者の希望時間によっては超過勤務もある。) 保育内容は、利用児の年齢、発達に沿った保育業務。今年度の利用児は熱性痙攣の既往歴があり、37.5° 以上の発熱で家庭連絡を行うこととなっている。熱性痙攣を起こした場合には、保護者より救急車の要請依頼をされている為、職員間では熱性痙攣時の対応について看護師による講習会を行うなどして意識統一を図って対応している。									
関係する根拠法令等 休日保育事業実施要綱第6条						災害時優先度		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					延長保育事業	煙山保育園	-	苫米地・高橋
管理No.				0801-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	延長保育申請児
	受益者	延長保育申請児保護者
意図	・就労形態の多様化に伴い、やむを得ない理由により子どもを預けられる環境が必要とされる保護者の為の環境が必要とされる保護者の為の保育時間の延長。	
手段	標準時間を超える午後6時から午後7時までと、短時間保育を超える午後4時30分から午後6時までの保育時間の延長。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	設置条例(規則35号 矢巾町延長保育事業実施に関する規則)に基づいて町必須の業務である。
成果に対する「有効性」	A	各年の保護者の勤務状況に合わせて、適切に行われている。
事務事業内容の「効率性」	B	概ね保育サービスは出来ているが、人員を増やすことで、さらに今より安心・安全な保育が確立される。
実施に係る「緊急性」	A	保護者の勤務時間に応じて行われている。

課題 (若しくは「問題」等)

・保育時間規則を周知しているものの、未申請利用者がいる。特に短時間保育の未申請利用者が多い。登降園の時間を保護者が記載しているが、保育時間外であっても、保育時間内の時刻を記載している場合が多い為、実際の人数は多いものと思われる。
・12時間保育のシフトの複雑化から、延長保育対応の保育士が出勤するまでの時間の保育士不足が深刻化するものと思われる。

【(旧) Change シート】

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	未申請のべ人数(やむを得ない場合)	人	89				
	延長保育申請者のべ人数	人	425				
成果指標	延長保育時間の怪我・事故の発生件数	目標値					
		実績値					
	苦情発生件数	目標値					
		実績値					
	延長保育利用者のべ人数	目標値	3800	3700	3600	3500	
		実績値	3898				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

・特になし

改善改革(案)

・保護者がカードで登降園時刻を打刻する、保育支援システム(おがーるシステム)を導入し、来年度より稼働予定である。保育時間規則周知は引き続き行う。
・保育士の増員を要望し、人材を確保する為の活動を行っていく。

管理No.	0801-000	名称	延長保育事業	予算額 (参考)		必要人員	0.30／人・年	部署名	煙山保育園 -
・利用する保護者の就労形態に合わせた働きやすい環境を作り、保育を必要とする児童及びその過程の福祉の増進を行う。 ・矢巾町立保育所設置条例の定めにより、保育標準時間認定の児童を保育時間(午前7時から午後6時までをいう。)を超えて保育すること及び、保育短時間認定の児童を設定時間(午前8時30分から午後4時30分までをいう。)を超えて保育することをいう。 具体的な内容については以下のとおりである ・対象児童： 延長保育を受けることができる児童は、保護者のいずれもが勤務の事情等により延長保育の必要があることを延長保育利用申込書に記入・提出の上、受理された者とする。なお、利用を中止する際は、延長保育利用中止届けを出すものとする。 ・延長保育時間： 保育標準時間を超える延長保育時間午後6時から7時まで、短時間保育を超える延長保育時間午後4時30分から6時までの保育時間の延長(18時から19時までに関しては、保育士2名を配置して実施)。 ・利用の申し込み等： 延長保育を希望する保護者は、延長保育の開始を希望する日の属する月の前月の末日までに延長保育利用申込書を提出する。延長保育を申請した保護者は、規定により定められた費用を負担する。									
関係する根拠法令等 矢巾町延長保育事業実施に関する規則						災害時優先度	発災から24時間以内に業務再開が必要		概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					環境整備事業	煙山保育園	-	渡辺安子
管理No.		0802-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園園児
	受益者	煙山保育園園児及び保護者
意図	園舎内外の環境を整え、景観が良く心地よい空間をつくる。	
手段	園児の目線に立って危険な障害物がないか触手、目視で確認。 環境整備に必要な用具を整える。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	園児、園に関わる方々に安全で良い環境を提供する。
成果に対する「有効性」	B	園児の安全な生活環境の確保。
事務事業内容の「効率性」	B	定期的に園舎内外の管理、点検を行う。 整備する事で安心、安全な生活環境に繋がる。
実施に係る「緊急性」		

課題（若しくは「問題」等）

園庭の土が駐車場に雨天のたびに流出する。

【(旧) Change シート】

指標（効果）

指標（効果）				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	園庭管理			20	20	20	20	20
	除雪作業			30	30	30	30	30
成果指標	園児が安全に過ごせる環境と景観の維持。		目標値	4	4	5	5	6
			実績値	4	4	5	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望（「外部の意見」など）



改善改革(案)

駐車場側に少しずつ花を植樹して流出を防ぐ。花が増える事で景観も良い。

管理No.	0802-000	名称	環境整備事業	予算額 (参考)		必要人員		部署名	煙山保育園 -
網戸、窓、換気扇の清掃。 畑の準備と収穫後の片づけ。 除草作業と除草剤散布。 花壇整備(季節ごとに花の植え替え)。 除雪作業と融雪剤散布。 側溝の清掃。 園舎内床清掃、マット・モップ交換。									
関係する根拠法令等						災害時優先度		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					煙山保育園維持管理事業	煙山保育園	-	田村・昆
管理No.				0803-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園
	受益者	園児及び保護者、職員
意図	園児が安全かつ衛生的に生活するための各種施設設備点検の委託業務	
手段	各種施設管理業務の委託	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	・園舎機械設備の安全使用の為 ・園舎の衛生管理
成果に対する「有効性」	A	・園児及び保護者が安全に生活できる。
事務事業内容の「効率性」	A	・専門業者の点検を行うことにより、早期に不具合を発見できる。
実施に係る「緊急性」	A	・施設設備に異常があるときには、安全保育に支障をきたす可能性が高いため優先的に実施する必要がある。

課題（若しくは「問題」等）

・固定遊具の老朽化により、指摘事項や修繕箇所が年々増加している。

【(旧) Change シート】

指標（効果）

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	施設管理委託業者数	社	8				
	修繕費用	千円	113				
成果指標	機械設備のトラブル件数	件	目標値				
			実績値				
	施設の修理箇所発生件数(固定遊具含む)	件	目標値				
			実績値	10			
	修理件数	件	目標値				
			実績値	4			

住民等からの意見要望（「外部の意見」など）



改善改革(案)

・新しい遊具への交換

管理No.	0803-000	名 称	煙山保育園維持管理事業	予算額 (参考)	1,014千円	必要人員	0.45／人・年	部署名	煙山保育園 -
各種施設管理業務を適切に委託する。 ・電気設備保守点検委託 各月1回 ・清掃業務委託(ガラス 網戸は9月 床洗浄 梁清掃は3月) ・機械警備業務委託 通年 ・機械設備保守点検委託 年2回 ・消防設備保守点検委託 年2回 ・遊具保守点検委託(2年に一回) ・污水ポンプ定期点検 年1回 ・害虫等駆除委託 年1回3種類の薬剤散布									
関係する根拠法令等						災害時優先度		発災から25時間から72時間までに業務再開が必要	
児童福祉法						概要説明資料			

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					障がい児保育事業	煙山保育園	-	中村・金子
管理No.				0804-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園園児及び保護者
	受益者	煙山保育園園児及び保護者
意図	・心身に障がいをもつ児童及び支援を必要とする児童を健常児とともに集団生活の中で保育することにより、障がい児の心身発達を促し、社会生活に必要な基礎的能力を養うと共に、障がい児の福祉の増進を図る。	
手段	・子どもの障がいの特徴や程度などに配慮しながら、計画的に集団または個別で保育を行う。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	障がい児の福祉の増進を図る。
成果に対する「有効性」	A	障がい児のいる家庭がより良く子育てできる環境の提供。
事務事業内容の「効率性」	B	保育士の勤務シフトによって担当保育士不在の時もあるが、安全に保育ができるように配慮している。
実施に係る「緊急性」	B	年々、障がい児や支援を必要とする児童が増加している。

課題（若しくは「問題」等）

・障がい児と認定されていない支援を必要とする児童が増加傾向にあり、既定の保育士定数と現状の必要人員が合わず、対象時に必要な支援を行う保育士が不足している。
・毎年担当保育士が替わるため、療育に関する専門的な知識の習得や個々に合わせた支援方法の確立に時間がかかる。
・子どもに発達上の課題が見られる場合に保護者の理解を得て療育期間に繋げるのが難しい。

【(旧) Change シート】

指標（効果）			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	音楽療法参加		10				
	相談支援専門員からの助言指導		4				
	研修会への参加		2				
成果指標	保護者に対する相談対応件数	目標値	28				
		実績値	22				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望（「外部の意見」など）

改善改革(案)

・保育士の増員を要望し、人材を確保する。
・支援する保育士の知識や技術を高めるため、研修への参加を積極的に行い保育士のスキルアップを図り、園全体で対象児についての特徴や支援方法などを伝え合い、共通理解を図る。
・子どもに発達上の課題が見られる場合、健康長寿課や相談支援専門員と連携及び協力を図り、保護者の理解を得、個別支援が行えるようにする。

管理No.	0804-000	名称	障がい児保育事業	予算額 (参考)		必要人員	4.00／人・年	部署名	煙山保育園 -
①保育全般 支援児に対して支援担当保育士を配置し、個人の月案を作成して集団生活において個別に援助する。 ②バンビの会 心理判定員を年4回依頼し、保護者との相談、対象児童の保育活動から指導助言をいただく。 バンビOB会として、支援児の保護者同士の交流の場を提供し、切れ目のない連携を図る。 ③音楽療法 音楽療法士を年13回依頼し、対象支援児に対して音楽療法を行う。 ④障がい児研修への参加 ⑤子ども課より、心理判定員を派遣してもらい、年2回の巡回相談を行っている。 ⑥保護者へ対する子育て支援 保護者に悩みや困りごとがある時に、話を聞き解決策を模索し、子育て支援を行っている。									
関係する根拠法令等						災害時優先度		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					保育園食育推進に係る事務	煙山保育園	-	庄野・高橋
管理No.		0805-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
1-4-13 子ども・子育て支援の充実

事務事業の方向性
維持

事務事業 概要

対象	対象者	煙山保育園園児
	受益者	煙山保育園園児及び保護者
意図	こどもの健やかな発育・発達を目指して提供されるものであり、子どもの食事・食生活を支援していくという視点が大切である。 保育園で提供される食事は豊かな食の体験を積み重ね、食べる意欲を育み、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本となる「食を営む力」の基礎を培うため園児への給食提供、及び栄養指導。	
手段	友達と協力しながら野菜の栽培、収穫、調理を行い食べる。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	食育基本法に基づき保育園として必須の業務である。
成果に対する「有効性」	B	安全・安心な給食の提供。
事務事業内容の「効率性」	A	自分達で育てた野菜を収穫、調理したりすることで、食べ物への興味、自然や命を大切に思う気持ち、食べ物や調理する人への感謝の気持ちを育む。
実施に係る「緊急性」	A	幼児期から食を営む力の基礎を育む。



【(旧) Change シート】

指標 (効果)

				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	野菜栽培活動	回		50				
	栄養指導	回		30				
	給食レシピの配布	回		12				
成果指標	朝食を毎日食べる子どもの割合	%	目標値	1	100	100	100	100
			実績値	0.95				
	肥満の割合	%	目標値	0.05	4	3	2	1
			実績値	0.078				
			目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

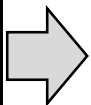


改善改革(案)

職員が食に関する知識を習得し、子ども達へ教える機会を作る。

課題 (若しくは「問題」等)

食に対する関心を高められるように、以前は地域の方や食に関する知識のある方を招いて食育に力を入れていたが、情勢の変化により、困難となった。



管理No.	0805-000	名称	保育園食育推進に係る事務	予算額 (参考)	13,422千円	必要人員	8.00／人・年	部署名	煙山保育園 -
園児へ給食提供(献立作成、食材発注、調理等) 栄養指導 園児の発育・発達状況・栄養状態・生活状況等の定期的な把握。 特別な対応が必要な園児への配慮(食物アレルギー対応等)									
関係する根拠法令等 食育基本法・保育所保育指針					災害時優先度	発災から24時間以内に業務再開が必要			概要説明資料